



# 週間情報



No.2932

発行日 平成29年8月21日

発行所 全国消防長会

一般財団法人全国消防協会

担当 企画部企画課 電話 03(3234)1321

## 両会の動き

### ◆ 全国消防長会常任理事会を開催

～ 全国消防長会会長に、村上<sup>むらかみ</sup>研一<sup>けんいち</sup>氏（東京消防庁消防総監）を選任 ～

全国消防長会

全国消防長会常任理事会（書面会議）（平成29年8月7日付全消発第172号）を開催しました。

7月31日付けで高橋淳会長が退任されたことから、常任理事会において、本会規約に基づき会長の補欠選任について審議され、8月17日付けで新会長に村上研一東京消防庁消防総監が選任されました。

なお、常任理事会における審議事項については次のとおりです。

#### 【審議事項】

- 1 全国消防長会会長の補欠選任について
- 2 顧問の委嘱について

### ◆ （一財）全国消防協会臨時理事会を開催

～ （一財）全国消防協会会長に、村上<sup>むらかみ</sup>研一<sup>けんいち</sup>氏（東京消防庁消防総監）を選定 ～

一般財団法人全国消防協会

平成29年8月17日（木）、（一財）全国消防協会臨時理事会（Web会議）を開催しました。

7月31日付けで高橋淳会長が退任されたことから、臨時理事会において、本協会定款に基づき会長の選定について審議され、8月17日付けで新会長に村上研一東京消防庁消防総監が選定されました。

なお、理事会における審議事項等については次のとおりです。

#### 【審議事項】

- 1 会長の選定について
- 2 賛助会員の加入について

#### 【報告事項】

- 1 臨時理事会及び臨時評議員会の実施結果について
- 2 第46回全国消防救助技術大会の概要について



【臨時理事会（於 本会事務局）の様子】



【村上会長就任あいさつ】

## 消防本部の動き

### 行事

#### ◆ ショッピングモールで予防広報イベントを開催

##### 市原市消防局（千葉）

市原市消防局では、平成29年7月25日（火）、ショッピングモールユニモちはら台において、緊急車両大集合フェスタを市原警察署及びJAF市原支部と共に開催しました。

本行事は子どもの事故が増える夏休み期間の初旬に、緊急車両の展示にあわせて、レスキュー隊、防火衣着装、起震車及び心肺蘇生法の各種体験並びに火災、熱中症、水難事故等の予防広報を子どもとその家族に実施することにより、安全意識の高揚と有事の際の対応能力の向上を図ることを目的としました。

イベントには女性消防団員も参加し、消防団車両の展示や消防団員の勧誘活動も行いました。当日は参加人数630人を超える大盛況なイベントになりました。



【フェスタの様子】

#### ◆ 少年消防クラブ1日消防署体験を実施

##### 富士宮市消防本部（静岡）

富士宮市消防本部では、平成29年7月27日（木）、市内5か所にある少年消防クラブ員が子どもの頃から防火・防災及び人命救助に対する意識及び知識の向上を図ることを目的として、富士宮市中央消防署において1日消防署体験を実施しました。

少年消防クラブ員13人は消防署のしくみをはじめ、規律訓練、放水訓練、防火衣・空気呼吸器着装訓練、梯子車の乗車体験等を通じて、消防隊員の仕事内容に対する知識と興味を深めることができました。



【規律訓練の様子】



【着装訓練の様子】



## ◆ 夏休み一日消防士体験ツアーを開催

北広島市消防署では、平成29年7月30日（日）、市内の小学生と保護者を対象にした「夏休み一日消防士体験ツアー」を実施しました。

このイベントは、消防の仕事への理解を深め、防災意識の向上を目的に実施しました。当日は、実際に水を使った放水訓練、救助訓練、はしご車搭乗、AEDを使用した心肺蘇生法、通信指令員体験などを実施しました。通信指令員体験では実際に児童が119番通報を行い、119番通報を受けてから消防車が出動するまでの流れを理解してもらいました。

児童と保護者あわせて26名が参加し、児童は訓練終了後に配付した修了証を手に笑顔で帰っていきました。

### 訓練・演習

### 北広島市消防本部（北海道）



【体験ツアーの様子】

## ◆ おたるドリームビーチ合同水難救助訓練を実施

### 小樽市消防本部（北海道）

小樽市消防本部では、平成29年7月10日（月）、おたるドリームビーチにおいて、おたるドリームビーチ協同組合、小樽ライフセービングクラブ、小樽海上保安部救難隊、当市消防本部救助隊による合同水難救助訓練を実施しました。

この訓練は、夏季のマリンレジャーシーズン中における海水浴場での遊泳者等の海浜事故発生時の迅速な対応及び他機関との連携を目的として、4機関合計で20名が参加しました。

訓練内容は、遊泳者が沖合で溺れて水中に沈み、助けに行ったら水上バイクもエンジントラブルにより漂流状態になってしまったため、2名の要救助者を救出するものです。漂流状態の水上バイクの1名を小樽ライフセービングクラブが救助し、水中に沈んでしまった1名を小樽海上保安部救難隊と当市消防本部救助隊が連携し捜索しました。



【訓練の様子】

## ◆ 消防相互応援協定に基づく合同訓練を実施

### 駿東伊豆消防本部（静岡）

駿東伊豆消防本部では、平成29年7月21日（金）、神奈川県箱根町消防本部との消防相互応援協定に基づき、神奈川県足柄下郡箱根町の町立森のふれあい館駐車場において、進出拠点消防集結訓練を両消防本部から17人が参加し実施しました。

この訓練は、消防相互の応援活動を効果的かつ円滑に実施するための連携を強化する目的で、静岡県と神奈川県の県境で接する両消防本部が、有事の際に応援を要請した時の部隊の集結訓練、デジタル無線統制波による交信訓練及び双方の保有資機材などの消防力の確認を行いました。



【訓練の様子】

## ◆ 山岳救助合同訓練を実施

### 日高東部消防組合消防本部（北海道）

日高東部消防組合消防本部では、平成29年8月8日（火）、2015年ユネスコ世界ジオパークに認定されたアポイ岳において、北海道防災航空隊、日高振興局及び様似町役場と合同で山岳救助訓練を実施しました。

年々、登山者が増加し、登山中の事故も発生していることから要救助者を安全・確実・迅速に救出するための連携強化及び山岳救助活動の技術向上を目的に訓練を実施しました。

今後も関係機関との連携強化を図り、消防力の向上に努めてまいります。



【訓練の様子】

## 研修等

## ◆ 救急隊員研修会を実施

### 稲敷広域消防本部（茨城）

稲敷広域消防本部では、平成29年7月27日（木）及び28日（金）、平成29年度第2回救急隊員研修会を実施しました。

本研修会は、「切らない脳卒中の治療、脳血管内治療の最前線」と題し、筑波メディカルセンター病院脳神経外科の医師を講師に招き実施しました。

救急隊が脳卒中を疑った傷病者に対する処置及び病院選定時の留意点、さらには医療機関収容後の治療方針について詳細に学ぶことができ、今後の救急活動に大変参考になりました。

なぜ急いでいるのか、どの病院に搬送することが適切なのかなど、どのような活動にも根拠を持ち考える救急隊として現場に向かえるよう、さまざまな角度からアプローチができる隊員を目指します。



【研修会の様子】



## ◆ 機関員特別研修会を開催

宝塚市消防本部では、平成29年8月1日(火)、当市消防本部において、公益社団法人全国市有物件災害共済会から講師を招き、消防指令業務を共同で運用する川西市消防本部及び猪名川町消防本部との広域連携合同研修として、機関員特別研修会を開催しました。

本研修会は、公用車による事故件数ゼロを目指して開催したものであり、実際の事故事例と対策を共有することにより、受講者全員が交通事故防止を再認識する大変貴重な機会となりました。

今後も消防本部として、公用車事故の撲滅により、安全で迅速な災害現場活動が実施できるよう、継続的な取り組みを進めます。

### 宝塚市消防本部（兵庫）



【研修会の様子】

## ◆ 八女市少年消防クラブ夏季研修を実施

八女消防本部では、平成29年8月1日(火)、八女市少年消防クラブ夏季研修（水難救助）を実施しました。

水の事故が増えるこの時期、心肺蘇生法や水難救助法を指導しました。

クラブ員は、正しい胸骨圧迫の仕方やAEDの使い方を学ぶとともに、着衣泳法やペットボトルなど身近なものを使っての浮き方、助け方などを体験しました。

小学生のうちに心肺蘇生法に触れることや水の恐さを知ってもらうことは、今後の生活において非常に役立つ知識と体験であり、効果的な研修となりました。

### 八女消防本部（福岡）



【研修の様子】

## ◆ クラスA泡消火戦術及びガンタイプノズルの講習会を実施

防府市消防本部（山口）

防府市消防本部では、平成29年8月8日（火）、YONE株式会社から講師を招き「クラスA泡消火戦術及びガンタイプノズルの講習会」を実施しました。

講習会では、前半は「クラスA泡消火薬剤の概要」、「各種ノズルの種類や使用選定」等についての講義を受け、後半は屋外において実技訓練を実施しました。

この講習会には、知識の習得及び消火技術の向上のため職員30名が参加し、基本的な知識から専門的な内容まで多岐にわたり講義していただいたことで、大変有意義な講習となりました。



【講習会の様子】

## その他

## ◆ 少年軟式野球世界大会開会式において広報活動を実施

東京消防庁（東京）

東京消防庁葛西消防署では、平成29年7月28日（金）、防災救急週間を前に「熱中症予防・#7119」、「家具転対策」の更なる普及を目的に、管内の江戸川区球場で行われた少年軟式野球世界大会開会式において、東京消防庁音楽隊が演奏を奏でるなか広報活動を展開しました。

世界一を目指し、熱き闘いで健闘を応援するために世界各国から野球ファンが訪れたなか、署オリジナルの「防救うちわ」とティッシュを配布、更に電光掲示板を活用しての政策広報を実施しました。

来場者は、このうちわの内容に興味を示すとともに、暑さに我慢できず手に取って必死にあおぐ方も多く、大きな効果がありました。



【広報活動の様子】



## ◆ 自動体外式除細動器設置施設登録事業を実施

春日井市消防本部では、平成28年4月1日から、市内における救命率の向上を目的に春日井市自動体外式除細動器設置施設登録要綱を定め、市内で発生した救急事案に対して、公共施設、事業所等に設置されたAEDを市民に貸し出すことができる事業所等の登録事業を実施しています。

平成29年8月1日現在、343の公共施設、事業所等が登録されており、春日井市のHP等で市民に周知しています。

今後も、当市では「必要なときに近くにAEDがある」環境を目指していきます。



【AED設置施設標章 (ステッカー)】

## 春日井市消防本部 (愛知)



【屋外設置 (24時間対応可能)の様子】

## ◆ 消防本部の住所変更について

### ○ 95105 名護市消防本部 (沖縄)

新住所 〒905-0019 名護市大北3丁目31番50号

※理由 新庁舎移転のため

平成29年7月1日から運用開始

## 国等の動き

### 消防庁通知等

## ◆ 「住宅防火・防災キャンペーン」の実施について (8月8日、消防予第236号)

消防庁予防課長より、各都道府県消防防災主管部長、東京消防庁・各指定都市消防長あてに次のとおり通知されましたのでお知らせします。

近年の住宅火災による死者数は1000人前後の高い数で推移しています。このうち約7割が65歳以上の高齢者であり、今後さらなる高齢化の進展に伴い、住宅火災における高齢者の死者数の増加が懸念されます。

このため、消防庁では、高齢者を中心とした住宅火災における死者数の低減を図るため、趣旨に賛同しご協力をいただいている団体・企業 (別紙 (省略)) と連携し、「敬老の日に「火の用心」の贈り物」をキャッチフレーズに、改めて高齢者に火災予防を注意喚起するとともに、住宅用火災警報器、住宅用消火器、エアゾール式簡易消火具、防災品等 (以下「住宅用防災機器等」という。) を高齢者に贈ることなどを広く国民に呼びかける「住宅防火・防災キャンペーン」を9月1日～9月21日に実施します。

つきましては、貴職におかれましても、本キャンペーンを契機として、高齢者宅における住宅用火災警報器の設置及び作動確認のほか、寝たばこ防止やストーブ・こんろ等の適切な使用等について改めて注意喚起いただくとともに、防災訓練・防火指導等の機会を通じて住宅用防災機器等の普及促進を図っていただきますようよろしくお願いいたします。

また、本キャンペーンのポスターを各都道府県担当者を通じて、各消防本部に（東京消防庁には直接）送付しますので、各署所及び地域の自治会の掲示板への掲示や、小学校及び幼稚園等に配布いただく等、キャンペーンの広報に効果的と思われる方法で適宜ご活用ください。

各都道府県消防防災主管部長におかれましては、貴都道府県内の各市町村（消防の事務を処理する一部事務組合等を含む。）に対してもこの旨周知いただきますようお願いいたします。

- 全文は、消防庁ホームページ

([http://www.fdma.go.jp/concern/law/tuchi2908/pdf/290808\\_yo236.pdf](http://www.fdma.go.jp/concern/law/tuchi2908/pdf/290808_yo236.pdf)) に掲載されています。

【問い合わせ先】  
予防課予防係  
担当：柏原、市川

## 報道発表

### ◆ 「消防防災ヘリコプターの安全性向上・充実強化に関する検討会」の開催（8月16日、消防庁）

ヘリコプターの安全性向上策・充実確保策を推進することを目的とし、「消防防災ヘリコプターの安全性向上・充実強化に関する検討会」を開催することとしましたので、お知らせします。（以下省略）

- 全文は、消防庁ホームページ

([http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/houdou/h29/08/290816\\_houdou\\_1.pdf](http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/houdou/h29/08/290816_houdou_1.pdf)) に掲載されています。

【問い合わせ先】  
国民保護・防災部防災課広域応援室  
担当：井本専門官、仙田係長、金井事務官、横山事務官

### ◆ 「大規模自然災害に伴う浸水区域における救助技術の高度化に関する検討会」の開催（8月18日、消防庁）

浸水区域における救助活動の充実を図ることを目的として、「大規模自然災害に伴う浸水区域における救助技術の高度化に関する検討会」を開催し、浸水区域での救助活動を安全かつ迅速に実施するための活動要領等について検討を行っていくこととしましたのでお知らせします。（以下省略）

- 全文は、消防庁ホームページ

([http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/houdou/h29/08/290818\\_houdou\\_1.pdf](http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/houdou/h29/08/290818_houdou_1.pdf)) に掲載されています。

【問い合わせ先】  
国民保護・防災部参事官付  
担当：布川補佐、松浦係長、堀木事務官

※ 消防庁各課室の直通電話番号は (<http://www.fdma.go.jp/neuter/about/tel.html>) に掲載されています。



◆ 新刊のご案内

東京法令出版株式会社

○ 『渋消式火災防ぎょ戦術』



渋川広域消防本部 編著

●B5判 ●112頁  
●オールカラー ●定価（本体1,800円+税）

本の特徴

- 地域特性を踏まえて、自ら考え行動し進化させた渋消式火災防ぎょ戦術—
- これまでの消防戦術にとらわれず「限られた消防力でいかに延焼を防ぐか」を徹底的に追求した火災防ぎょ戦術を紹介。
- オールカラーで、写真を大きく、豊富に掲載。
- 活動を動画で紹介。スマートフォン、タブレット端末等で閲覧可能。

○ 『実は身近なNBC災害』



三好 陸奥守 著

●B5判 ●208頁  
●2色刷 ●定価（本体1,600円+税）

本の特徴

- NBC災害の「壁」はこれで乗り越える！—
- 消防士が苦手意識を持ちやすいNBC災害を、豊富な現場経験を生かして、事例をベースに現場が必要とする情報を盛り込んでわかりやすく解説。
- 生徒が先生に教えを請うやりとりを耳にしているような文体で、わかりやすく読みやすい。

- 1 申込方法 お電話にてお願いします。
- 2 申込先 東京法令出版株式会社 受注センター  
〒381-0022 長野市大豆島3111  
TEL 0120-338-272
- 3 送料 実費にてお願いいたします。(260円～400円。地域によって異なります。)ただし、税込み購入金額が3,000円以上の場合は弊社にて負担いたします。

**【問い合わせ先】**

東京法令出版株式会社 企画編集部

担当：一由<sup>いちよし</sup>

電話：03-5803-3304

週間情報では、各本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せ下さい。

**週間情報への投稿は企画課へ！**

TEL 03-3234-1321 FAX 03-3234-1847 E-mail : [weekly@fcj.gr.jp](mailto:weekly@fcj.gr.jp)